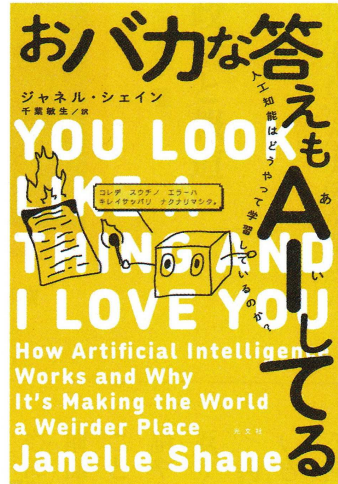


Book



おバカな答えも AI してる 人工知能はどうやって 学習しているのか？

ジャーネル・シェイン 著 / 千葉敏生 訳

光文社
2200円 / 288ページ

Profile

Janelle Shane

電気工学の博士号、物理学の修士号を持つAI研究者。滑稽でときに不気味なAIの挙動についてつづるaiweirdness.comは人気のブログ。数多くの新聞・雑誌などに寄稿もしている。

溢れる「AI愛」を通じ 初心者も現状理解が可能

評者・スクウェアイブ代表 黒須豊

ば つと見、とてもカジュ
アルな印象が強い装丁
となっているが、それは、A

Iを難解なものとして読者が敬遠しないようにするための配慮なのだろう。実際、文章には砕けた表現が多いうえ、図解も多用されているので、AI初心者でも正確に読み解くことが可能だ。

中身はと言えば、テスラ社の自動運転車による死亡事故の原因といった、万人にとつて興味深い事例を取り上げ、AIの、特に広義の学習機能における限界を示しつつ、具

体的なAIの学習方法もかなり詳しく解説している。

軽い見かけと違い、中身の濃い一冊と言えるだろう。

自動運転の例では、AIが人間を支援することはできて、いざという時に人間がAIを支援することは極めて難しいという指摘が、大変興味深い。

現在の自動運転は、AIが対応できない困難な状況に遭遇したら、人間が直ちにAIに代わって運転をしなければならぬ。しかし、それまでボーツとしていたり、同乗者

とおしゃべりしたりしていた人間が、急に運転を代われと言われてもできることは限られているだろう。

本書は、主としてAIの学習機能に焦点を合わせ、現状においてはAIが万能ではないことを学ぶことができる有益な本である。

とにかく、全体を通して著者の「AI愛」が溢れており、研究者である著者がいかにAIの学習過程を温かく見守ってきたかが想像できる内容となっている。AIの研究者も実務家も共感を覚える部分が少ないだろう。

AI機械学習を学ぶ学生に教科書の副読本として、また、AIの現状を理解したい一般読者にもお薦めできる。